

## 2005 年度 小委員会活動成果報告

(20 年 月 日作成)

小委員会名	環境心理生理学用語集小委員会		主 査 名：山田由紀子 就任年月：20 年 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (企画刊行運営委員会)		委員長名：加藤信介 主 査 名：吉野 博
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2007 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学際的分野である環境心理生理分野の用語の英訳及び和訳がすぐに分かる用語集の作成</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無し		
	主査：山田 由紀子(明治大学)、幹事：辻村 壮平(明治大学)、小久保 隆之(明治大学) 有川 智(国土交通省国土技術政策総合研究所)、伊藤 俊介(東京電機大学)、岩田 利枝(東海大学)、 大井 尚行(九州大学)、河口 豊(広島国際大学)、木村 通治(埼玉短期大学)、小島 隆矢(独立行政 法人建築研究所)、園田 真理子(明治大学)、橋本 修左(武蔵野女子大学)、堀 祐治(独立行政法人建 築研究所)、村松 陸雄(武蔵野女子大学)、安永 幸子(学習院大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	学際的分野である環境心理生理は、英論文を書く場合や文献を読む場合などに困ることがある。そ こで、この分野の用語の英訳及び和訳とその用語の微妙な使い分けの違いなどを(注)として掲載した 用語集を作成することを目的とした。本用語集は、研究者や学生、さらには環境心理生理の分野で活 躍する人々に役立てて頂きたいと考えている。		
2005 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナ ー・研究会・見学会等)	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 2004 年度は、重複、過不足、採用・不採用などを検討するため、委員が長時間(例えば、10 時～ 17 時など)集まり、幹事が全原稿をエクセルで整理したものを「あ」から順にチェックを行ない、 五十音順で「は」で始まる用語までのチェックを終えた。本年度は、全ての用語に関してこの検 討を終えた。 2. 2005 年度活動計画では、2005 年 9 月に刊行を予定していた。しかし、全用語に簡単な説明(42 文字程度)をつけること、掲載する用語数が制限されることが決定し、そのために刊行が遅れた。 内容に関しては、さらに洗練されたものとなると考えられる。
委員会活動の問題点 ・課題	なし

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。